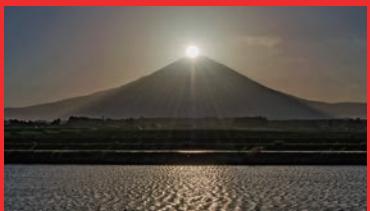




国際ロータリー
第2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会長挨拶

橋本喜市



久しぶりにお酒の話になります。世界5大ウイスキーは、スコッチウイスキー、アメリカンウイスキー、アイリッシュウイスキー、カナディアンウイスキー、そしてジャパニーズウイスキーです。近年のジャパニーズウイスキーは世界的な人気を誇っています。

大麦麦芽だけを使いポットスチルで2~3回蒸留したモルトウイスキー、トウモロコシや小麦などの主原料を連続式ポットスチルで蒸留したグレーンウイスキー、モルトウイスキーとグレーンウイスキーを混合したブレンデッドウイスキー、などの製造法が有りますが、なかでも単一の蒸留所で造られたモルトウイスキーのみを瓶詰したシングルモルトが、現在、世界中でブームを起こしています。

現サントリー創業者・鳥井信治郎氏が日本で本格的なウイスキー蒸留所として京都郊外の地に創設した山崎蒸留所。鳥井氏はスコットランドでウイスキー製造を学んだ竹鶴正孝氏を初代工場長に抜擢し、国産初の「白札」を発売しました。その後、鳥井の次男の佐治敬三氏が日本のシングルモルトウイスキー造りを目指し、昭和59年に「山崎」を誕生させました。現在、山崎は12年、18年、25年、50年、55年とラインアップされていますが、この山崎55年は発売時1本330万円で100本限定発売され、2020年香港でのオークションで8500万円の値を付けました。

第2655回 例会プログラム

- 例会場／東山荘記念館 《早朝例会》
- 朝食／6:00~6:40
- 開会点鐘／6:40
- ロータリーソング／我らの生業
- 内容／鳥卓話と探鳥会 (7:30終了)
親睦活動委員会 日本野鳥の会 菅常雄様

会員慶事

- 会員誕生日／5月24日 長谷川雅也君
- 皆出席／5月16日 久保田勇輝君
(ロータリー歴3年)

国産のシングルモルトウイスキーは、他にはサントリー「白州」、ニッカ「余市」「宮城峡」などがあります。日本で最初のシングルモルトウイスキーは三楽オーナーの「軽井沢」です。また、御殿場にありますキリンビールの富士御殿場蒸溜所はロータリーでも企業訪問させて頂きましたが、ブレンデッドの「富士山麓」やピュアモルト「富士御殿場蒸溜所」などがあります。ちなみに、キリンシーグラムが今の所に蒸留所を開設する前に、サントリーもこの付近を蒸留所の候補地にしていましたが、その後、山梨県の白州に蒸留所を開設することになります。

最近のウイスキー業界のトレンドは、ウイスキー投資のブームです。山崎55年の話ではありませんが、自宅に眠っているウイスキーをネットオークションやフリマアプリなどに出品する人もいるようです。



会長挨拶用
QRコード



5/12の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
55名	51名	45名	88.24%	100%

欠席者（6名）

※やむを得ず欠席される方は、
午前9時50分までにご連絡下さい。

次回
5月26日の
例会

★東山荘講堂
★12:30点鐘
★国難を乗り切るためには
若林洋平君



SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために



新入会員 卓話

勝亦 敦志君

簡単に弊社の紹介をさせて頂きます。

昭和28年に有限会社亀屋書店として法人化しました。それ以前にも書籍教科書販売は行っていたようですが、正確にいつ頃から行っていたのか判然としません。半業半農のような形態であったそうです。曾祖父の勝亦金作が本好きで自分の趣味が高じて、農業の片手間に書店業も始めたようです。金作は出版社の岩波書店で丁稚奉公しながら、東京で本を仕入れて風呂敷づつみを担いで帰ってきたそうです。戦後、杉原から婿に入った祖父の宗作が法人化し現在の礎を作ってくれました。祖父宗作は元軍人で私の父達には非常に厳しい人でしたが、孫の私にはとても優しくロータリークラブのクリスマス会には毎年必ず連れてきてくれました。父が3代目、私で4代目として斜陽産業の書店業界で曲がりなりにもここまで家業を続けてこられたのは、祖父が作ってくれた会社としての土台がしっかりしていたからだと感謝しております。

ここからは出版業界の話をさせて頂きます。さきほど斜陽産業と申し上げた出版業界は厳しい状況です。今現在、日本一の売り上げを誇る書店は、ネットのアマゾンがダントツで首位です。アマゾンの強みはその圧倒的な在庫量と配達速度、無料配達です。フランスではリアル書店を守るためにネット書店の無料配送を禁止する法律があるそうですが、日本ではその機運は高まっておりません。

出版物分類別売上を見ると、1990年代からずっと右肩下がりです。2020年にコミックの売り上げが伸びていますが、これは鬼滅の刃効果です。一作品だけで業界全体の前年割れを防いでしまいました。分野別に落ち込みが激しいのは雑誌です。出版社、書店にとって一番構成比率が大きいので、雑誌の売上減少は業界全体に大きな影響を与えています。

この中で唯一検討している分野が児童書です。子供の活字離れが問題視される中、子供の情操教育や脳の活性化に好影響があると言われている児童書は親から子へはもちろん、祖父母、友人などからの贈り物として選ばれる傾向が強く、子供の数が減っているにも関わらず安定したマーケットを構築しています。弊社も学校とのつながりが強いため、学校図書館に多く納品させて頂いていますが、図書予算自体はそれほど減ることなく維持しています。しかし、学校現場を見ていて気になる点が1点あります。納品で学校を訪問時、小学校の図書室は昼休み時間になるととても多くの子供たちでごった返している状況ですが、中学、高校となりますと途端に図書室に来ている人数が減ってしまいます。小学校の図書館利用率というの高い傾向にありますので、この傾向をいかに中学校以上の年代まで広められるかが業界全体の課題となっています。

このような書店業界ですが、この先10年、20年後にどれだけのリアル書店が日本に残るだろうかと考えると暗い気持ちになってしまいます。ただ、活字文化が消えることはないので、経営の多角化などでなんとかこれからも生き残っていきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



司会
菅沼良将君



出席報告
長田 崇君



幹事報告
渋谷 一君



会員誕生日
山内 強嗣君



皆出席
長谷川 雅也君



皆出席
鎌野 篤志君

4月23日
米山記念館
春季例祭



4月29日
地区奉仕活動
委員会セミナー

